

平成 29 年度第 1 回山梨県森林総合研究所「森の教室」運営委員会会議結果のお知らせ

委員会の名称	平成 29 年度第 1 回山梨県森林総合研究所「森の教室」運営委員会
日 時	平成 29 年 5 月 31 日（水）15:00～
場 所	山梨県森林総合研究所「森の教室」
出席者	(委員) 大澤 正嗣、河野 東、田中 伴泰、時田 恵、(欠席 矢川 満) (事務局) (公財)やまなし文化学習協会：事務局長、「森の教室」管理責任者 森林総合研究所：所長、次長、研究員 (7)、技能員 (1)、 林業普及指導員(1) 森林環境総務課：企画担当(1)
審 議	<p>1．事務局からの説明</p> <p>( 1 ) 平成 28 年度事業実施状況</p> <p>1 ) 森の教室行事实績</p> <p>2 ) 森の教室利用状況</p> <p>3 ) 出前講座等の実績</p> <p>( 2 ) 平成 28 年度第 2 回運営委員会でのご意見と取り組み</p> <p>( 3 ) 平成 29 年度事業計画</p> <p>1 ) 森の教室主催事業予定</p> <p>2 ) 展示室等の写真展・特別展示予定</p> <p>3 ) 県産のヒノキで作る電動系ノコ工作・期間限定工作予定</p> <p>4 ) 出前講座等の予定 (平成 28 年 5 月 9 日現在)</p> <p>( 4 ) その他</p> <p>2．委員からの意見・審議</p> <p>前参加者がボランティアとして来るのはすごいので、この流れが出来ていけばよい。</p> <p>アンケート結果を受けた取り組みの結果が数字となって表れ、目に見える形になったことが素晴らしい。</p> <p>今回、イベントの感想において不満が出なかったはすごい。</p> <p>自然保護関係の講習会の参加者の間に自然体験の需要がある。都市部の大学などを通して広報するとよいのではないか。</p> <p>リピーターの多いことが一番の勲章では。何回来ても楽しめて、4 回以上も参加しているのはすごい。</p> <p>アンケートの傾向分析がきちんと行われ利用者の増加に繋がっているの、ぜひ続けてほしい。</p> <p>電動工具を使う際に対応できるボランティアなどのスタッフが増えたとよい。</p> <p>高校生たちに林業を体験させる機会が殆どない。林業界に受け入れ先があれば、林業に関する関心を増やすこともできる。</p> <p>間伐体験などを農林高校だけでなく他の中・高等学校にも広めたい。</p> <p>社会全体へ社会貢献の一環として行いたい。</p> <p>和紙づくりなど地域の伝統工芸の要素をとり入れるのは、地域との結びつきが強まるで重要である。</p> <p>森の教室の活動は、保全心理学の観点からも世界で求められていることを既に実践していると PR できる。</p> <p>ISO14001 が大改訂され、今後は企業から生物多様性に関連する需要が出てくるのではないかと。</p>
お問い合わせ先	森林総合研究所「森の教室」運営委員会 事務局 本多 電話番号：0556-22-8001； ファックス番号：0556-22-8002